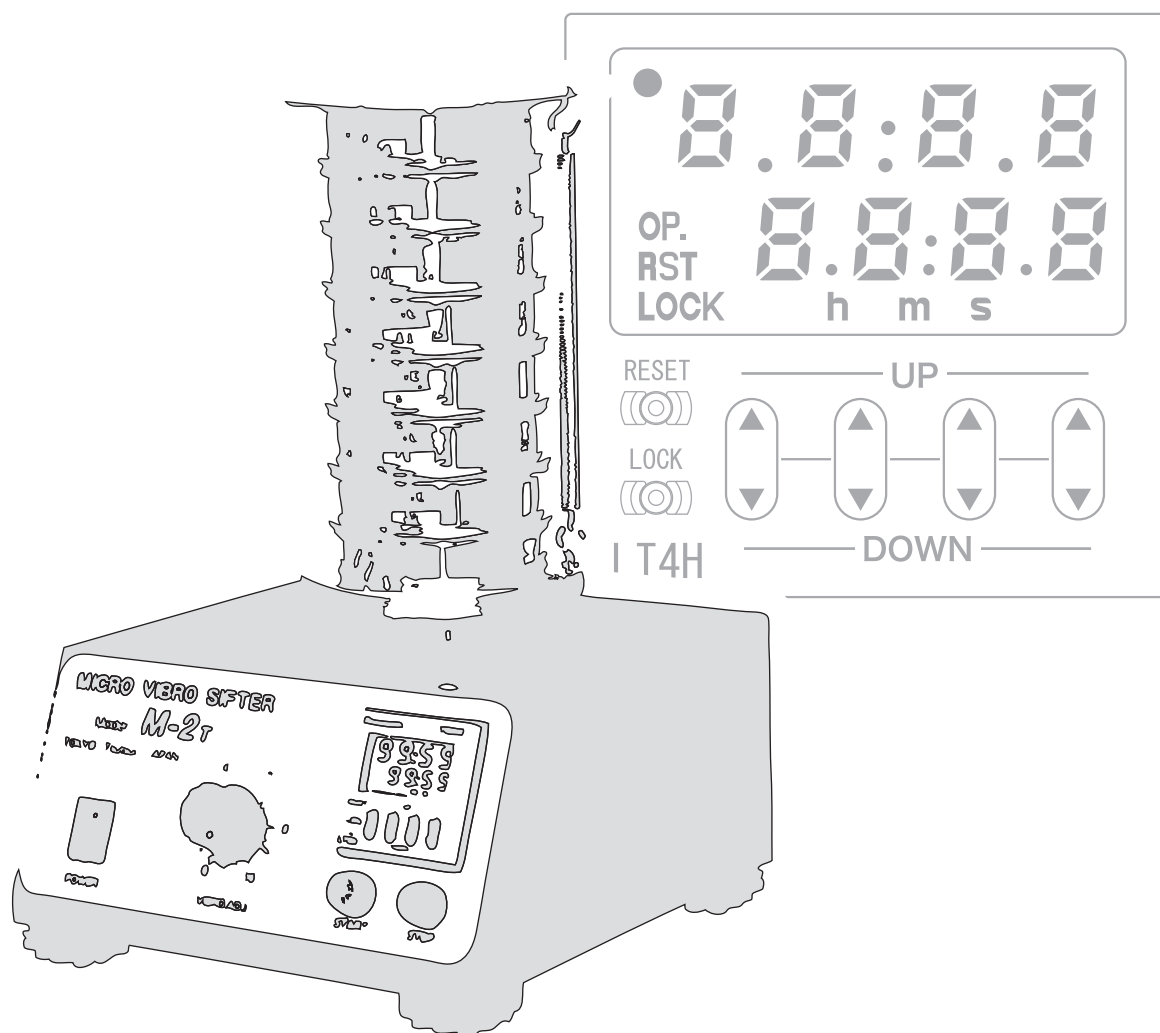


75φふるい用  
マイクロ形 電磁振動ふるい器

# M-2T

▶ 取扱説明書



粉粒体測定に貢献する  
筒井理化学器械株式会社

〒110-0003  
東京都台東区根岸1丁目1番31号

Tel: 03-3845-2011  
Fax: 03-3842-5852

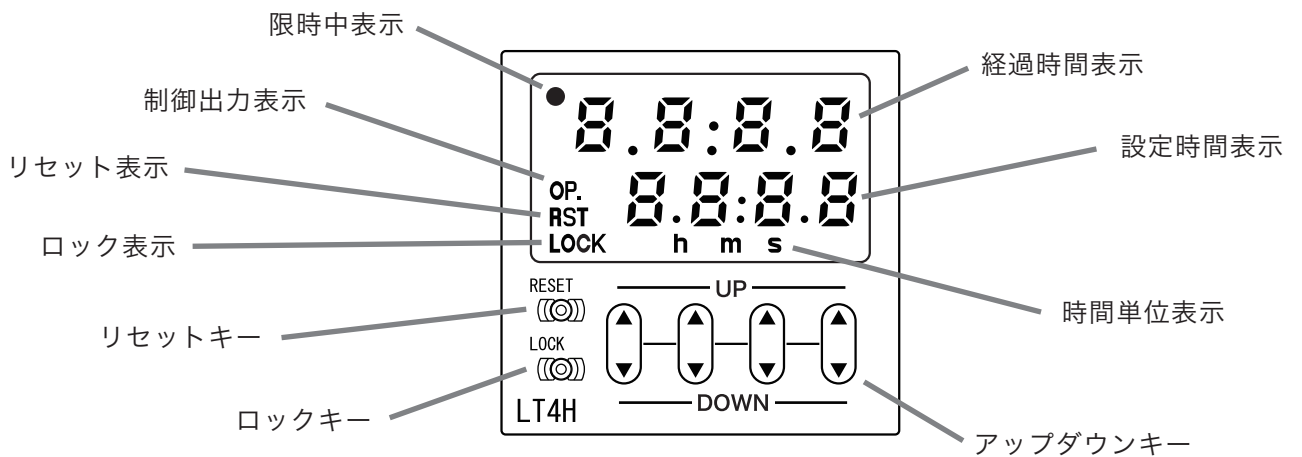
sales@e-tsutsui.com  
<http://www.e-tsutsui.com/>

# 組立図及び各部名称

## M-2T 形本体



## タイマー



## 製品仕様

本体	電源	100V 35VA 50Hz用 /60Hz用 ※ 周波数により振動が変わります。御確認下さい。 ※ 100V 以外の電圧で使用する場合はトランスをご使用下さい。
	電源スイッチ	ON/OFF
	振動調節ダイヤル	0~10
	デジタルタイマー	START キー STOP キー 秒単位設定。最大設定時間 99 分 59 秒。
	使用ふるい	JIS 試験用ふるい 75φ×h20mm Max7 個掛 ふるい、受皿は付属していません
付属品	フック付蓋	
	固定スプリング	35mm ふるい 2~3 段用・・・3 本 50mm ふるい 4~5 段用・・・3 本 70mm ふるい 6~7 段用・・・3 本
	電源コード、取扱説明書	

## 操作方法

### 設置

1. 梱包を解き、付属品をご確認下さい。本製品は電源周波数により振動の強さが変わります。本体に付いている周波数のシールを御確認下さい。
2. 本体を丈夫な実験台などの水平な場所に設置して下さい。もし振動を強くした時に本体が動く場合は滑りにくいゴムシート、ウエス等を下に敷いて下さい。(別売で防振ゴム板もございます)
3. 電源スイッチが OFF、振動調節ダイヤルが 0 になっていることを確認し、電源コードを接続して下さい。
4. 本体上部のふるい受台にふるい受皿を置き、その上に使用するふるいを目開きの細かい順に積み重ねます。(予め空のふるいの重量を計測しておくことをお勧めします。)
5. サンプルを正確に秤量します。サンプルの特性(カサ比重等)、ふるいの目開きによりサンプル量は変わります。(通常 1g~5g 位が最適です) サンプル量を余り多くしますと目詰まりを起し、ふるい分け効率が悪くなりなす。
6. 精秤したサンプルを最上部の一番粗いふるいになるべく平らになるように投入します。
7. ふるい最上部の上にフック付蓋を重ねます。ふるいの段数により固定スプリングを選び、受台と蓋のそれぞれ 3 箇所のフックに取り付け固定します。
8. 電源スイッチを ON にするとランプが点灯し、タイマーの液晶画面が点等します。

### タイマーの設定

(下記は M-2T が振動していない状態での説明です。振動している場合は STOP キーで停止させてからタイマーを設定して下さい。)

9. 振動時間を設定します。タイマー下部の 4 桁のアップダウンキーにより分・秒を設定して下さい。(最大設定時間は 99 分 59 秒です。) 希望する振動時間が設定時間表示部に正しく表示されていることを確認して下さい。

10. STOP キーを押して下さい。経過時間表示部に設定した時間が表示されたことを確認して下さい。  
※ 振動時間を設定した後は必ず STOP キーを押して下さい。STOP キーを押すことでタイマーに設定時間がメモリーされます。STOP キーを押している間は液晶画面に「RST(RESET)」の文字が表示されます。
11. 振動時間が 0 秒に設定されている場合は、START キーを押している間だけ振動します。
12. 振動中に設定時間表示部の時間を変更した場合、M-2T は経過時間表示部が 0 になるまで振動を続け、振動停止とともに振動設定時間が更新されます。また、振動中に設定時間表示部の時間を変更し、かつ STOP キーを押した場合、M-2T はその場で振動を止め、振動設定時間が更新されます。
13. 振動中に STOP キーを押した場合、振動時間は設定時間表示部に表示されている時間にリセットされます。経過時間を一時停止させることはできません。
14. RESET キーは STOP キーと同様の働きをします。
15. ROCK キーを押すことでアップダウンキー、RESET キーからの入力をロックします。(START キー、STOP キーからの入力は受け付けます。) ROCK 中は液晶画面に「ROCK」の文字が表示され、再度 ROCK キーを押すことで解除されます。

#### 振動強度の設定

16. START キーを押し、振動を開始します。振動中は時限中表示が点滅し、「OP」の文字が点灯します。振動調節ダイヤルを回し出力を上げます。
17. 通常サンプルが振動により破損するような物でなければ出力 8 ~ 10 で約 5 ~ 10 分行います。

#### 終了

18. 電源を OFF にし、スプリング・フック付蓋を取り外します。各ふるいの中を観察し、完全にふるい分けされているようであれば最上段のふるいから残ったサンプルを薬包紙等に採取し秤量します。予め空のふるいを計量してある場合はふるいに残ったサンプルと共に秤量します。
19. ふるい分けが完全でないような場合は更に 5 分 ~ 10 分ほど振動させて下さい。
20. 各ふるい上の残ったサンプル量を計量できたら、粒度分布を求めます。
21. 測定が終了したらふるいの清掃を行います。続けて同じサンプルを測定する時は掃除機、エアガン、掃除用ブラシ、ウエス等で目詰まりをよく取り、再度測定を行います。又別のサンプルや目詰まりが多い場合は超音波洗浄器やスポンジに中性洗剤を付け軽く水で洗浄し、よく乾燥後再度測定を行って下さい。

